

ケーブルモデム、モデルDPC2100™ およびEPC2100™ ユーザーガイド

目次

■ 安全にお使いいただくために	2
■ FCC準拠	8
■ はじめに.....	9
■ 同梱内容について	10
■ 前面パネルの説明	11
■ 背面パネルの説明	12
■ ケーブルモデムに最適な設置場所について.....	13
■ インターネットサービスに関するシステム要件について	14
■ 高速インターネットアクセスのアカウント設定方法について.....	15
■ インターネット利用のための機器の接続方法について.....	17
■ TCP/IPプロトコルの設定について	19
■ USBドライバーのインストール方法について.....	23
■ 困ったときに	26
■ パフォーマンス改善のヒント	28
■ PCのIPアドレスを書き換える方法について	29
■ 前面パネルLEDステータスインジケータの機能.....	30
■ ご注意	32

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために

Notice to Installers

The servicing instructions in this notice are for use by qualified service personnel only. To reduce the risk of electric shock, do not perform any servicing other than that contained in the operating instructions, unless you are qualified to do so.

<p>Note to System Installer</p> <p>For this apparatus, the coaxial cable shield/ screen shall be grounded as close as practical to the point of entry of the cable into the building. For products sold in the US and Canada, this reminder is provided to call the system installer's attention to Article 820-93 and Article 820-100 of the NEC (or Canadian Electrical Code Part 1), which provides guidelines for proper grounding of the coaxial cable shield.</p>	<table border="1"><tr><td></td><td>CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN</td><td></td></tr><tr><td></td><td>AVIS RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE NE PAS OUVRIR</td><td></td></tr></table> <p>CAUTION: To reduce the risk of electric shock, do not remove cover (or back). No user-serviceable parts inside. Refer servicing to qualified service personnel.</p> <p>WARNING TO PREVENT FIRE OR ELECTRIC SHOCK, DO NOT EXPOSE THIS UNIT TO RAIN OR MOISTURE.</p>		CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN			AVIS RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE NE PAS OUVRIR	
	CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN						
	AVIS RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE NE PAS OUVRIR						
 <p>This symbol is intended to alert you that uninsulated voltage within this product may have sufficient magnitude to cause electric shock. Therefore, it is dangerous to make any kind of contact with any inside part of this product.</p>	 <p>This symbol is intended to alert you of the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying this product.</p>						

20060608SICM-EN

Notice à l'attention des installateurs de réseaux câblés

Les instructions relatives aux interventions d'entretien, fournies dans la présente notice, s'adressent exclusivement au personnel technique qualifié. Pour réduire les risques de chocs électriques, n'effectuer aucune intervention autre que celles décrites dans le mode d'emploi et les instructions relatives au fonctionnement, à moins que vous ne soyez qualifié pour ce faire.

<p>Remarque à l'attention de l'installateur du système</p> <p>Avec cet appareil, le blindage/écran du câble coaxial doit être mis à la terre aussi près que possible du point d'entrée du câble dans le bâtiment. En ce qui concerne les produits vendus aux États-Unis et au Canada, ce rappel est fourni pour attirer l'attention de l'installateur sur les articles 820-93 et 820-100 du Code national de l'électricité (ou Code de l'électricité canadien, Partie 1) qui fournissent des lignes directrices concernant la mise à la terre correcte du blindage (écran) du câble coaxial.</p>	<table border="1"><tr><td></td><td>CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN</td><td></td></tr><tr><td></td><td>ATTENTION DANGER ÉLECTRIQUE NE PAS OUVRIR</td><td></td></tr></table> <p>ATTENTION : Pour réduire les risques de chocs électriques, ne pas enlever le couvercle (ou le panneau arrière). Ne contient aucune pièce réparable par l'utilisateur. Confier les interventions aux techniciens d'entretien qualifiés.</p> <p>AVERTISSEMENT POUR ÉVITER LES INCENDIES OU LES CHOC ÉLECTRIQUES, NE PAS EXPOSER L'APPAREIL À LA PLUIE OU À L'HUMIDITÉ.</p>		CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN			ATTENTION DANGER ÉLECTRIQUE NE PAS OUVRIR	
	CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN						
	ATTENTION DANGER ÉLECTRIQUE NE PAS OUVRIR						
 <p>Ce symbole a pour but de vous prévenir que des tensions électriques non isolées existent à l'intérieur de ce produit, pouvant être d'une intensité suffisante pour causer des chocs électriques. Il est donc dangereux d'établir un contact quelconque avec l'une des pièces comprises à l'intérieur de ce produit.</p>	 <p>Ce symbole a pour but de vous prévenir de la présence d'instructions importantes relatives au fonctionnement ou à l'entretien (et aux réparations) dans la documentation accompagnant ce produit.</p>						

20060608SICM-FR

Mitteilung für CATV-Techniker

Die in dieser Mitteilung aufgeführten Wartungsanweisungen sind ausschließlich für qualifiziertes Fachpersonal bestimmt. Um die Gefahr eines elektrischen Schlags zu reduzieren, sollten Sie keine Wartungsarbeiten durchführen, die nicht ausdrücklich in der Bedienungsanleitung aufgeführt sind, außer Sie sind zur Durchführung solcher Arbeiten qualifiziert.

<p>Mitteilung an den Systemtechniker</p> <p>Für dieses Gerät muss der Koaxialkabelschutz/ Schirm so nahe wie möglich am Eintrittspunkt des Kabels in das Gebäude geerdet werden. Dieser Erinnerungshinweis liegt den in den USA oder Kanada verkauften Produkten bei. Er soll den Systemtechniker auf Paragraph 820-93 und Paragraph 820-100 der US-Elektrovorschrift NEC (oder der kanadischen Elektrovorschrift Canadian Electrical Code Teil 1) aufmerksam machen, in denen die Richtlinien für die ordnungsgemäße Erdung des Koaxialkabelschirms festgehalten sind.</p>	 <p>CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN</p> <p>ACHTUNG STROMSCHLAGEGEFAHR, NICHT ÖFFNEN</p>
<p style="text-align: center;"></p> <p>Dieses Symbol weist den Benutzer auf das Vorhandensein von nicht isolierten gefährlichen Spannungen im Gerät hin, die Stromschläge verursachen können. Ein Kontakt mit den internen Teilen dieses Produktes ist mit Gefahren verbunden.</p>	<p>ACHTUNG: Zur Vermeidung eines Stromschlags darf die Abdeckung (bzw. die Geräterückwand) nicht entfernt werden. Das Gerät enthält keine vom Benutzer wartbaren Teile. Wartungsarbeiten dürfen nur von qualifiziertem Fachpersonal durchgeführt werden.</p> <p>WARNUNG DAS GERÄT NICHT REGEN ODER FEUCHTIGKEIT AUSSETZEN, UM STROMSCHLAG ODER DURCH EINEN KURZSCHLUSS VERURSACHTEN BRAND ZU VERMEIDEN.</p> <p style="text-align: center;"></p> <p>Dieses Symbol weist den Benutzer darauf hin, dass die mit diesem Produkt gelieferte Dokumentation wichtige Betriebs- und Wartungsanweisungen für das Gerät enthält.</p>

20060608SICM-GR

設置者への注意

本注意事項の保守取扱説明書は、正規保守員のみを対象とします。保守作業の資格がない場合、感電の危険があるため操作説明書に記載される事項以外の保守作業は行わないでください。

<p>システム設置者への注意</p> <p>本機器の同軸ケーブルシールド/スクリーンは建物のケーブル引き込み口に近い、実用的なところで接地します。米国およびカナダで販売される製品については、この注意書きを提供し、同軸ケーブルシールドの適正な接地に関するガイドラインを規定する NEC の条項第 820-93 節および第 820-100 節 (または Canadian Electrical Code Part 1) についてシステム設置者の注意を喚起するものです。</p>	 <p>CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN</p> <p>注意 感電の危険 開けないでください</p>
<p style="text-align: center;"></p> <p>この記号は、本製品内の非絶縁電圧が十分大きく、感電の原因となることを警告しています。従って、本製品内部に触れることはいかなる場合においても危険です。</p>	<p>注意：感電の恐れがありますので、カバー（または背面）を取り外さないでください。ユーザーが修理可能な部品はありません。保守サービスは正規保守要員にご相談ください。</p> <p>警告 火災または感電の恐れがありますので、本体を雨または湿気にさらさないでください。</p> <p style="text-align: center;"></p> <p>この記号は、本製品に付属の文書に重要な操作手順および保守（サービス）手順が掲載されていることをお知らせするものです。</p>

20060608SICM-SP

安全にお使いいただくために

すべての警告に関するお願い

製品および操作説明書にあるすべての警告を守ってください。

説明書の参照、保管、および順守

本製品を稼動する前に安全に関する注意事項と操作説明書をすべて入念にご一読ください。本製品に付属のすべての操作説明書に従ってください。今後の使用に備え、説明書を保管してください。また、すべての安全に関する注意事項は特にご注意ください。

警告の順守

感電しないように注意してください。操作説明書に記載するすべての警告と注意のほか、本製品に貼付の警告と注意を順守してください。

電源に関する警告

電源供給

本製品のラベルに適切な電源を記載しています。本製品を稼動するにあたり、製品ラベルに記載される電圧と周波数のコンセント以外のご使用にならないでください。

自宅または会社へ供給される電源の種類が不明の場合は、ケーブル事業者または最寄りの電力会社へお問い合わせください。

本製品のアース取り付け（米国およびカナダのみ）



警告：

感電および火災に注意してください。分極プラグまたはアース付きプラグに備わる安全仕様に従ってください。分極プラグには2つの端子があり、片方は幅広になっています。アース付きプラグは、2端子のほかにアース線が付いています。幅広の端子またはアース線は安全のために用意されています。付属のプラグをコンセントに差し込むことができない場合は、旧式のコンセントを取り替える必要があるため、電気工事会社にお問い合わせください。

3極（アースピン）安全プラグまたは2極（分極）安全プラグが本製品に取り付けられている場合、分極プラグやアース付きプラグの安全仕様に従ってください。この安全ガイドラインの通りに、本製品を正しく接地してください。

- 3極プラグ（2端子と第3のアース線で構成）の場合、アース付き3極電源コンセントにプラグを差し込んでください。

注記：このプラグは向きが規定されています。アース線は安全のために据え付けられています。このプラグをコンセントの奥まで差し込むことができない場合は、旧式のコンセントを取り替える必要があるため、電気工事会社にお問い合わせください。

- 2極プラグ（幅広の1端子と細い1端子で構成）の場合、片方のソケットが幅広の分極2極電源コンセントにプラグを差し込んでください。

注記: このプラグをコンセントの奥まで差し込むことができない場合は、プラグの向きを逆にしてみてください。幅広の端子は安全のために据え付けられています。それでもプラグが合わない場合は、旧式のコンセントを取り替える必要があるため、電気工事会社にお問い合わせください。

過負荷



警告:

感電および火災に注意してください。**AC電源コンセントおよび延長コードに負荷をかけすぎないでください。動作時に電池などの電源が必要な製品については、製品の操作説明書を参照してください。**

電源コンセント、延長コード、または必要な出力レセプタクルに負荷をかけすぎないようにしてください。火災や感電の原因となります。動作時に電池などの電源が必要な製品については、製品の操作説明書を参照してください。

電源コードの損傷についてのご注意

特にプラグ、出力レセプタクル、機器の根元付近の電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないでください。すべての電源コードは、ペットがコードを踏みつけたり、引きちぎったりしない場所に配置してください。コードにものを載せたり、立てかけたりすると、コードが損傷する可能性があります。

使用上の警告

換気

- 換気口をふさがないでください。メーカーの説明書に従って設置してください。
- 本機器をベッド、ソファ、カーペットなどの上に置かないでください。
- 暖房器、通風調節装置、ストーブ、その他の熱を発生する装置（アンプを含む）など、熱源のそばに設置しないでください。
- 設置すると十分な換気が損なわれる場合は、本箱やラックなどの閉ざされた場所に本機器を設置しないでください。
- エンターテインメント装置（ビデオデッキやDVDなど）、ランプ、本、液体を入れた花瓶などを本製品の上に置かないでください。
- 水の近くで本機器を使用しないでください。

安全にお使いいただくために

適切な場所の選択



警告：

けがおよび本製品の損傷に注意してください。不安定な場所では本製品が落下する恐れがあります。

本製品を安定した場所に置いてください。本製品の大きさや重さに耐えることのできる場所に設置してください。メーカーの推奨する取り付け部品を使用してください。メーカーが推奨しない場合は、製品を壁または天井に取り付けしないでください。

重要：電源コードを抜くことで機器の電源を完全に切ることができます。

本製品は、電源コンセントに十分近い場所で、壁内コンセントや製品の背面パネルから電源コードを取り外す際に手の届く所に配置してください。

本製品のお手入れ



警告：

感電しないように注意してください。本製品のプラグを抜いてから清掃してください。清掃には必ず乾いた布をご使用ください。

本製品の清掃を始める前に、電源コンセントからプラグを抜いてください。本製品の清掃には必ず乾いた布をご使用ください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーを使用しないでください。本製品には磁気/静電気除去装置（集塵除去機）を使用しないでください。

異物および水や湿気による損傷からの保護



警告：

感電および火災に注意してください。本製品の中にももの押し込まないでください。異物を入れるとショートの原因になり、感電や火災が発生する可能性があります。本製品を雨や湿気にさらさないでください。花瓶などの液体の入ったものを本製品の上に置かないでください。

開口部から本製品の中にももの押し込まないでください。危険な電源との接触や部品のショートにより火災または感電の原因となる恐れがあります。

本製品を液体や湿気にさらさないでください。濡れた表面上に本製品を置かないでください。本製品の上や周辺に液体をこぼさないでください。

湿気のある地下室やプール周辺、または水のかかる場所や物（浴槽、洗面器、洗面台、洗濯桶など）の近くで本製品を使用しないでください。

付属品に関する警告



警告：

感電や火災に注意してください。メーカー指定の取り付け品/付属品のみを使用してください。

ケーブル事業者やメーカーの推奨のない付属品や取り付け品を本製品に使用しないでください。

保守サービスに関する警告

本製品の保守サービス



警告：

感電しないように注意してください。カバーを開けたり、取り外したりすると、危険な電源に触れる可能性があります。本製品内にユーザーが修理可能な部品はありません。すべての保守作業は正規保守員にご相談ください。

本製品のカバーを開けないでください。カバーを開けた場合は、本製品に伴う保証が無効になります。すべての保守作業は正規保守員にご相談ください。保守サービスを受ける方法については、ケーブル事業者にお問い合わせください。

製品が損傷した場合の保守サービス

損傷で保守サービスが必要となる場合は、AC コンセントから本製品のプラグを抜いてください。すべての保守サービスはケーブル事業者または正規保守員にご相談ください。保守サービスが以下の場合に必要となります。

- 機器に何らかの損傷が発生した場合
- 電源コードまたはプラグが損傷した場合
- 機器の上に液体がこぼれたり、ものが落ちたりした場合
- 機器が雨や湿気にさらされた場合
- 機器が正常に動作しない場合
- 機器を落とした場合

製品の安全性確認

本製品に対する保守サービスや修理の完了時に、保守技術者は安全性チェックを行い、本製品が正常動作状態であることを確認しなければなりません。

落雷

安全強化のため、落雷時または長時間使用しない場合は本機器のプラグを抜いてください。壁内コンセントの AC 電源を切断するとともに信号入力端子も外してください。これで落雷や電源線サージによる機器の損傷を避けることができます。サージ保護装置に本機器をつなぐと、損傷の危険性が少なくなります。

20060712MDBN

FCC 準拠

米国 FCC 準拠

本機器は、FCC 規則の第 15 章に従って試験を実施し、クラス B デジタル機器規準に準拠すると認定された製品です。これらの制限は、一般家庭での設置作業において発生する可能性のある干渉における、妥当な保護の提供を目的として規定されています。本機器は無線周波エネルギーを発生、使用、および放射する可能性があります。説明書に準拠した設置と使用を行わない場合、ラジオ通信上の障害を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置手順で干渉が発生しなくなるという保証はありません。本機器によってラジオやテレビの受信障害が発生した場合（機器の電源を切/入することで判断）、以下の措置を講じてこの干渉を調整することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えたり、場所を移動する。
- 機器と受信器との間隔をあける。
- 受信機の接続コンセントとは別の回路系統のコンセントに機器を接続する。
- ケーブル事業者または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

Scientific-Atlanta, Inc. で明示的に承認されていない変更や改造を行うと、機器使用の権利が無効になる可能性があります。

下記の FCC 準拠宣言の節に示す内容は FCC の要件であるとともに、本機器の FCC 認定に関する情報を示しています。掲載の電話番号は FCC 関連の質問のみを受け付け、本機器の接続または操作に関する質問にお答えするものではありません。本機器の操作や設置に関する質問は、ケーブル事業者にお問い合わせください。

FCC 準拠宣言

本機器は FCC 規則第 15 章に準拠します。以下の 2 つの条件に従って動作するものとします。1) 本機器が有害な干渉を発生しないこと。2) 本機器が、操作に有害な可能性のある干渉を含む干渉を必ず受信すること。

データケーブルモデム
DPC2100/EPC2100
Scientific-Atlanta, Inc.
5030 Sugarloaf Parkway
Lawrenceville, Georgia 30044 USA
電話 : 770-236-1077

EMI 規定 (カナダ)

クラス B デジタル装置はカナダの ICES-003 に準拠します。

Cet appareil numérique de la class B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

20060628FDC

はじめに

高速インターネットアクセスの世界へようこそ。モデル **DPC2100** またはモデル **EPC2100** は、新しいケーブルモデムとしてハイエンドのパフォーマンスと卓越した信頼性を提供します。新製品の **DPC2100** または **EPC2100** を使用すると、インターネット環境や業務生産性が確実に向上します。

ここでは、**DPC2100** または **EPC2100** の設置、インストール、設定、操作、トラブルシューティングに関する手順と推奨事項について説明します。

利点と特徴

新しい **DPC2100** または **EPC2100** は、以下の傑出した利点と特徴を備えます。

- オンライン体験を一層向上させる高速ブロードバンドのインターネット接続が可能です。ファイルや写真のダウンロード、家族と友人間での共有の際に生じる問題から解放されます。
- 設定やインストールが簡単になるプラグアンドプレイ操作が可能です。
- **USB**接続と**Ethernet**接続に対応します。
- 縦置き、横置きが可能です。
- ケーブル事業者のソフトウェア自動アップグレードが可能です。
- **DOCSIS (Data Over Cable System Interface Specifications) 2.0**に準拠することで、大多数のケーブル事業者との相互運用が可能です。また、**DOCSIS 1.1**および**DOCSIS 1.0**ネットワークとも下位互換性があります。

同梱内容について

同梱内容について

ケーブルモデムの受け取り時に機器と付属品をチェックし、各品目が同梱され、損傷のないことを確認してください。商品の箱には以下の品目が同梱されています。



ケーブルモデムモデル DPC2100
またはモデル EPC2100 1 台



Ethernet ケーブル
(CAT5/RJ-45) 1 本



電源コード付き電源アダプター1
個



USB ケーブル 1 本 (付属して
いないモデルあり)



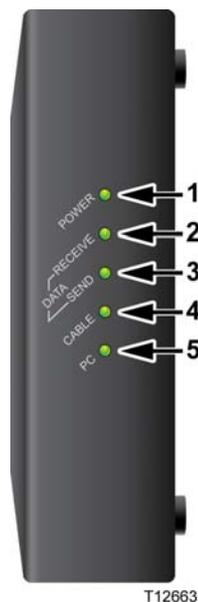
ユーザーガイドと USB ドライバ
ーを収めた CD-ROM 1 枚

いずれかの品目が不足するか、損傷のある場合は、ケーブル事業者にご連絡ください。

注記：ケーブルモデムと同じケーブル接続にビデオデッキ、**Digital Home Communications Terminal (DHCT)** もしくはセットトップコンバーター、またはテレビを接続する場合は、オプションのケーブル信号スプリッターおよび追加の標準 RF 同軸ケーブルが必要になります。

前面パネルの説明

ケーブルモデムの前面パネルには、ケーブルモデムの動作状態および動作段階を示すLEDステータスランプが取り付けられています。ケーブルモデルがネットワークで正常に登録されると、**[POWER (電源)]**と**[CABLE (ケーブル)]**のステータスインジケータが連続的に点灯します。これは、ケーブルモデムがアクティブで動作可能状態にあることを示しています。前面パネルLEDステータスインジケータに関する機能の詳細については、「**前面パネルLEDステータスインジケータの機能**」(30ページ)を参照してください。

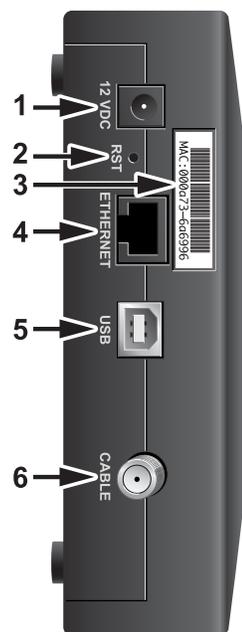


- 1 **[POWER (電源)]** - 緑色の点灯はケーブルモデムの電源投入を示します。
- 2 **[RECEIVE DATA (データ受信)]** - 点滅はケーブルモデムがケーブルネットワークからデータの受信中であることを示します。
- 3 **[SEND DATA (データ送信)]** - 点滅はケーブルモデムがケーブルネットワークにデータの送信中であることを示します。
- 4 **[CABLE (ケーブル)]** - 緑色の点灯はケーブルモデムがネットワークで登録され、動作可能状態にあることを示します。このインジケータが点滅する場合は、以下の状態のいずれかを示しています。
 - ケーブルモデムが起動中であり、データ送受信の準備中です。
 - ケーブルモデムがネットワークのスキャン中であり、登録を試みています。
 - ケーブルモデムがネットワークの登録を失いました。再登録されるまで点滅が続きます。
- 5 **[PC (PC)]** - Ethernet/USB キャリア信号が確認されると、緑色で点灯します。点滅の場合は、Ethernet/USB データが PC とケーブルモデム間において転送中であることを示します。

注記: ケーブルモデルがネットワークで正常に登録されると、**[POWER (電源)]** (LED 1) と**[CABLE (ケーブル)]** (LED 4) のインジケータが連続的に点灯します。これは、ケーブルモデムがオンラインになり、動作可能状態にあることを示しています。

背面パネルの説明

DPC2100 および EPC2100 ケーブルモデムの背面パネル部分を次の図に示します。



T10963

- 1 **[12 VDC (12 VDC)]** - ケーブルモデムに付属する AC 電源アダプターの DC 出力にケーブルモデムを接続します。ケーブルモデムに付属する AC 電源アダプターと電源コードのみを使用してください。



注意：

機器が損傷しないように注意してください。ケーブルモデムに付属する AC 電源アダプターと電源コードのみを使用してください。

- 2 **[RST (リセット)]** - デフォルト設定に戻すリセットボタン (ファクトリーリセット)
注記：このボタンは保守作業のみに使用します。サービスプロバイダーからの指示がない限り、使用しないでください。
- 3 **[MAC Address Label (MAC アドレスラベル)]** - ケーブルモデムの MAC アドレスを示します。
- 4 **[ETHERNET (ETHERNET)]** - PC の Ethernet ポートに接続する RJ-45 Ethernet ポートです。
- 5 **[USB (USB)]** - PC の USB ポートに接続する 12 Mbps USB ポートです。
- 6 **[CABLE (ケーブル)]** - ケーブル事業者の有効なケーブル信号に接続する F コネクターです。

ケーブルモデムの最適な設置場所について

ケーブルモデムの最適な場所は、コンセントやその他の機器に届きやすいところです。自宅または会社のレイアウトを考慮し、ケーブル事業者と相談してケーブルモデムに最適な場所を選んでください。ケーブルモデムの設置場所を決める前にこのユーザーガイドを十分にお読みください。

以下の推奨事項について注意してください。

- AC電源コンセントの近くにPCとケーブルモデムを配置してください。
- ケーブル用コンセントを追加する必要がないように、既存のケーブル引き込み口付近にPCとケーブルモデムを配置してください。ケーブルを無理に引っ張ったり、縮めたりすることなく、モデムとPCからケーブルを引き回すだけの十分なスペースが必要です。
- ケーブルモデム周辺の空気の流れを遮らないでください。
- 偶発的な障害や不具合を回避できる場所を選んでください。

インターネットサービスに関するシステム要件について

ケーブルモデムが高速インターネットサービスに対して効率よく動作するように、システム上のすべてのインターネット機器が、少なくとも以下に記載するハードウェアおよびソフトウェアの最小要件を満たすことを確認してください。

注記：また、アクティブなケーブル入力ラインとインターネット接続が必要です。

PC の最小システム要件

- Pentium MMX 133プロセッサ以上
- 32 MB RAM
- ウェブブラウザのソフトウェア
- CD-ROMドライブ

Macintosh の最小システム要件

- MAC OS 7.5
- 32 MB RAM

Ethernet 接続のシステム要件

- TCP/IPプロトコルをインストールしたMicrosoft Windows 95以降のオペレーティングシステム搭載PCまたはTCP/IPプロトコルをインストールしたApple Macintoshコンピューター
- アクティブな10/100BaseT Ethernetネットワーク・インターフェース・カード (NIC)

USB 接続のシステム要件

- Microsoft Windows 98SE、ME、2000、XPのいずれかのオペレーティングシステムを搭載したPC
- マスターUSBポートを設置済みのPCまたはApple Macintoshコンピューター

高速インターネットアクセスのアカウント設定方法について

ケーブルモデムを使用する前に、高速インターネットアクセスのアカウントを所有する必要があります。高速インターネットアクセスのアカウントを所有していない場合は、地域のケーブル事業者を通してアカウントを設定する必要があります。ここでは2つの選択肢のいずれかを選択してください。

高速インターネットアクセスのアカウントを所有していない場合

高速インターネットアクセスのアカウントを所有していない場合、ケーブル事業者がお客さまのアカウントを設定した時点でインターネットサービスプロバイダー（ISP）となります。インターネットアクセスにより、電子メールの送受信、World Wide Web へのアクセス、他のインターネットサービスの使用が可能になります。

ケーブル事業者に以下の情報を通知する必要があります。

- モデムのシリアル番号
- モデムのMAC（Media Access Control）アドレス

これらの番号は、ケーブルモデム上に貼られているバーコードラベルに表示されています。シリアル番号は **S/N** で始まる一連の英数字、MAC アドレスは **MAC** で始まる一連の英数字で示します。次の図はバーコードラベルの一例です。



これらの番号を以下の空欄に書き留めておいてください。

シリアル番号 _____

MAC アドレス _____

すでに高速インターネットアクセスのアカウントを所有している場合

すでに高速インターネットアクセスのアカウントを所有している場合、ケーブル事業者にモデムのシリアル番号と **MAC** アドレスを通知する必要があります。前述のシリアル番号と **MAC** アドレスの情報を参照してください。

注記: 既存の電子メールアドレスをこのケーブルモデムでそのまま使用できない場合があります。詳細については、サービスプロバイダーにお問い合わせください。

インターネット利用のための機器の接続方法について

ケーブルモデムを使用してインターネットにアクセスできます。また、インターネット接続を自宅や会社にある他のインターネット機器と共有できます。複数の機器間で単一の接続を共有することをネットワーキングと呼びます。

インターネット機器の接続とインストール

インターネットアクセスのためにケーブルモデムを接続してインストールする必要があります。専門技術者によるインストールサービスもご利用いただけます。詳細については、お近くのケーブル業者にお問い合わせください。

機器を接続するには

次の図は、有効な各種ネットワーキング方法の一例です。

Me

高速データサービス用モデムの接続



警告：

けがや機器の損傷を避けるために、以下の手順を記載順どおりに実行してください。

- 1 PC の電源を切り、AC 電源からプラグを抜きます。
- 2 適切なデータケーブルを使用して、**[ETHERNET (ETHERNET)]**ポートまたは**[USB (USB)]**ポートに PC を接続します。1 台の PC を同時に Ethernet ポートと USB ポートの両方に接続しないでください。一方の PC を Ethernet ポートに、他方の PC を USB ポートに接続することで、同時に 2 台の異なる PC をケーブルモデムに接続できます。
- 3 有効な RF 同軸ケーブルを**[CABLE (ケーブル)]**コネクタに接続します。オプションのケーブル信号スプリッターを使用し、テレビ、DHCT またはセットトップコンバーター、ビデオデッキを追加します。
- 4 ケーブルモデムの背面にある**[POWER (電源)]**コネクタに AC 電源コードを差し込んだ後、コードのプラグを AC 電源に差し込みます。
- 5 PC を含むネットワーク接続機器のプラグを差し込み、電源を投入します。ケーブルモデムが自動検索を開始し、ブロードバンドデータネットワークにサインオンします。この処理に 5 分ほどかかる場合があります。前面パネルの**[ONLINE (オンライン)]**LED ステータスインジケータの点滅が停止し、連続的に点灯すると、モデムを使用できるようになります。

インターネット利用のための機器の接続方法について

- 6 ケーブルモデムのセットアップでは次に、インターネットアクセス用のインターネット機器を設定します。以下のオプションのいずれかを選びます。
 - Ethernet接続を使用する場合、TCP/IPプロトコルを設定する必要があります。TCP/IPプロトコルの設定については、「**TCP/IPプロトコルの設定方法について**」を参照してください（19ページ）。
 - USB接続を使用する場合は、USBドライバーをインストールする必要があります。USBドライバーのインストールについては、「**USBドライバーのインストール方法について**」を参照してください（23ページ）。

TCP/IP プロトコルの設定方法について

TCP/IP プロトコルを設定するには、Ethernet ネットワーク・インターフェース・カード (NIC) とともに TCP/IP 通信プロトコルをシステムにインストールする必要があります。TCP/IP はインターネットアクセスに使用する通信プロトコルです。ここでは、Microsoft Windows または Macintosh 環境でケーブルモデムを使用して動作するインターネット機器に TCP/IP を設定する手順を説明します。

インターネット機器の TCP/IP 設定

Microsoft Windows 環境の TCP/IP プロトコルはオペレーティングシステムごとに異なります。ご使用のオペレーティングシステムに該当する項の説明に従ってください。

Windows 95、98、98SE、ME システムの TCP/IP 設定

- 1 **[Start (スタート)]** をクリックし、**[Settings (設定)]** から **[Control Panel (コントロールパネル)]** を選択します。
- 2 **[Control Panel (コントロールパネル)]** のウィンドウで **[Network (ネットワーク)]** のアイコンをダブルクリックします。
- 3 **[Configuration (ネットワークの設定)]** のタブでインストール済みのネットワークコンポーネントのリストを参照し、TCP/IP プロトコル/Ethernet アダプターが PC に存在することを確認します。
- 4 インストール済みのネットワークコンポーネントリストに TCP/IP プロトコルが表示されていますか？
 - 表示されている場合は、ステップ 7 に進みます。
 - 表示されない場合は、**[Add (追加)]**、**[Protocol (プロトコル)]**、**[Add (追加)]** の順にクリックし、ステップ 5 に進みます。
- 5 **[Manufacturers (製造元)]** リストで **[Microsoft (Microsoft)]** をクリックします。
- 6 **[Network Protocols (ネットワーク プロトコル)]** リストで **[TCP/IP (TCP/IP)]** をクリックし、**[OK (OK)]** をクリックします。
- 7 **[TCP/IP Ethernet Adapter (TCP/IP Ethernet アダプター)]** プロトコルをクリックし、**[Properties (プロパティ)]** を選択します。
- 8 **[IP Address (IP アドレス)]** のタブをクリックし、**[Obtain an IP address automatically (IP アドレスを自動的に取得する)]** を選択します。
- 9 **[Gateway (ゲートウェイ)]** のタブをクリックし、このフィールドが空白であることを確認します。空白でない場合、フィールドのすべての情報を選択して削除します。
- 10 **[DNS Configuration (DNS 設定)]** のタブをクリックし、**[Disable DNS (DNS を無効にする)]** を選択します。
- 11 **[OK (OK)]** をクリックします。

TCP/IP プロトコルの設定方法について

- 12 ファイルのコピーが終了した時点で**[OK (OK)]**をクリックし、すべてのネットワークウィンドウを閉じます。
- 13 **[System Settings Change (システム設定の変更)]**のダイアログボックスで**[YES (はい)]**をクリックしてコンピューターを再起動します。コンピューターが再起動されます。TCP/IP プロトコルが PC に設定され、Ethernet 機器を使用できるようになります。
- 14 インターネットにアクセスしてみます。インターネットにアクセスできない場合は、「**困ったときに**」を参照してください (26ページ)。それでもインターネットにアクセスできない場合は、サポートについてサービスプロバイダーにご相談ください。

Windows 2000 システムの TCP/IP 設定

- 1 **[Start (スタート)]**をクリックし、**[Settings (設定)]**から**[Network and Dial-up Connections (ネットワークとダイヤルアップ接続)]**を選択します。
- 2 **[Network and Dial-up Connections (ネットワークとダイヤルアップ接続)]**のウィンドウで**[Local Area Connection (ローカルエリア接続)]**のアイコンをダブルクリックします。
- 3 **[Local Area Connection Status (ローカルエリア接続の状態)]**のウィンドウで**[Properties (プロパティ)]**をクリックします。
- 4 **[Local Area Connection Properties (ローカルエリア接続のプロパティ)]**のウィンドウで**[Internet Protocol (TCP/IP) (インターネットプロトコル (TCP/IP))]**をクリックし、**[Properties (プロパティ)]**をクリックします。
- 5 **[Internet Protocol (TCP/IP) Properties (インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ)]**のウィンドウで**[Obtain an IP address automatically (IP アドレスを自動的に取得する)]**と**[Obtain DNS server address automatically (DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する)]**の両方を選択し、**[OK (OK)]**をクリックします。
- 6 **[Local Network (ローカル ネットワーク)]**のウィンドウで**[Yes (はい)]**をクリックしてコンピューターを再起動します。コンピューターが再起動されます。TCP/IP プロトコルが PC に設定され、Ethernet 機器を使用できるようになります。
- 7 インターネットにアクセスしてみます。インターネットにアクセスできない場合は、「**困ったときに**」を参照してください (26ページ)。それでもインターネットにアクセスできない場合は、詳細についてケーブル事業者にご相談ください。

Windows XP システムの TCP/IP 設定

- 1 **[Start (スタート)]**をクリックし、スタートメニューの設定に応じて以下のオプションのいずれかを選択します。
 - Windows XP 既定のスタートメニューを使用している場合、**[Connect to (接続)]**を選択してから**[Show all connections (すべての接続の表示)]**を選びステップ 2 に進みます。
 - Windows XP クラシックスタートメニューを使用している場合、**[Settings (設定)]**を選択して**[Network Connections (ネットワーク接続)]**から**[Local Area Connection (ローカルエリア接続)]**をクリックしてステップ 3 に進みます。

- 2 [Network Connections (ネットワーク接続)]のウィンドウにある[LAN (LAN)]セクションまたは[High-Speed Internet (高速インターネット)]のセクションで[Local Area Connection (ローカルエリア接続)]のアイコンをダブルクリックします。
- 3 [Local Area Connection Status (ローカルエリア接続の状態)]のウィンドウで[Properties (プロパティ)]をクリックします。
- 4 [Local Area Connection Properties (ローカルエリア接続のプロパティ)]のウィンドウで[Internet Protocol (TCP/IP) (インターネットプロトコル (TCP/IP))]を選んでから、[Properties (プロパティ)]をクリックします。
- 5 [Internet Protocol (TCP/IP) Properties (インターネットプロトコル (TCP/IP)のプロパティ)]のウィンドウで[Obtain an IP address automatically (IP アドレスを自動的に取得する)]と[Obtain DNS server address automatically (DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する)]を選択し、[OK (OK)]をクリックします。
- 6 [Local Network (ローカル ネットワーク)]のウィンドウで[Yes (はい)]をクリックしてコンピューターを再起動します。コンピューターが再起動されます。TCP/IPプロトコルがPCに設定され、Ethernet機器を使用できるようになります。
- 7 インターネットにアクセスしてみます。インターネットにアクセスできない場合は、「困ったときに」を参照してください(26ページ)。それでもインターネットにアクセスできない場合は、詳細についてサービスプロバイダーにご相談ください。

Macintosh システムの TCP/IP 設定

- 1 Finderの左上隅にある**Apples**のアイコンをクリックします。[Control Panels (コントロールパネル)]を下にスクロールして[TCP/IP (TCP/IP)]をクリックします。
- 2 画面上部の Finderで[Edit (編集)]をクリックします。メニューを下までスクロールして[User Mode (ユーザーモード)]をクリックします。
- 3 [User Mode (ユーザーモード)]のウィンドウで[Advanced (詳細設定)]を選び、[OK (OK)]をクリックします。
- 4 [TCP/IP (TCP/IP)]のウィンドウの[Connect Via (経由先)]のセクションの右側にある上/下の矢印をクリックし、[Using DHCP Server (DHCP サーバーを参照)]をクリックします。
- 5 [TCP/IP (TCP/IP)]のウィンドウで[Options (オプション)]をクリックし、[TCP/IP オプション]のウィンドウで[Active (アクティブ)]をクリックします。
注記：[Load only when needed (必要な時にのみロード)]のオプションが選択されていないことを確認します。
- 6 [TCP/IP (TCP/IP)]のウィンドウの右上隅にある[Use 802.3 (802.3 を使用)]のオプションが選択されていないことを確認します。オプションが選択されている場合、オプションのチェックマークを外し、左下隅の[Info (情報)]をクリックします。
- 7 ウィンドウにハードウェアアドレスが表示されますか?

TCP/IP プロトコルの設定方法について

- 表示される場合は、**[OK (OK)]**をクリックします。[TCP/IP Control Panel (TCP/IP コントロールパネル)]のウィンドウを閉じるには、**[File (ファイル)]**をクリックして下にスクロールし、**[Close (閉じる)]**をクリックします。これで手順が完了しました。
 - 表示されない場合は、Macintosh の電源を切る必要があります。
- 8 電源切断時にキーボードの**コマンド (Apple) キー**、**Option キー**、**P キー**、**R キー**を同時に押します。これらのキーを押しながら、Macintosh の電源を入れます。少なくとも**3回**、アップルチャイムが聞こえるまでキーを押しつづけてください。次に、キーを離すと、コンピューターが再起動します。
 - 9 コンピューターが完全に再起動されたら、ステップ**1~7**を繰り返して実行し、すべての**TCP/IP**設定が正しいことを確認します。その場合でもハードウェアアドレスが表示されない場合は、詳細について正規 Apple 代理店または Apple サポートセンターにご相談ください。

USB ドライバーのインストール方法について

USB ドライバーをインストールするには、PC に USB ネットワークインターフェースおよび Microsoft Windows 98SE、ME、2000、XP オペレーティングシステムが搭載されている必要があります。ここでは、ケーブルモデム用 USB ドライバーのインストール手順について説明します。

注記：USB インターフェースを使用していない場合、この項は飛ばしてください。

USB ドライバーのインストール

USB ドライバーのインストール手順は各オペレーティングシステムで異なります。ご使用のオペレーティングシステムに該当する項の説明に従ってください。

Windows 98SE、ME システムの USB ドライバーインストール

- 1 PC の CD-ROM ドライブに **USB Cable Modem Driver Installation Disk** (USB ケーブルモデムドライバーインストールディスク) を挿入します。
- 2 ケーブルモデムの前面パネルにある**[POWER (電源)]**および**[ONLINE (オンライン)]**の LED ステータスインジケータが緑色で点灯するまで待機します。**[Add New Hardware Wizard (新しいハードウェアの追加ウィザード)]**のウィンドウが開きます。
- 3 **[Add New Hardware Wizard (新しいハードウェアの追加ウィザード)]**のウィンドウで**[Next (次へ)]**をクリックします。
- 4 **[Add New Hardware Wizard (新しいハードウェアの追加ウィザード)]**のウィンドウで**[Search for the best driver for your device (Recommended) (使用中のデバイスに最適なドライバーを検索する (推奨))]**を選択し、**[Next (次へ)]**をクリックします。
- 5 **[Add New Hardware Wizard (新しいハードウェアの追加ウィザード)]**のウィンドウで**[CD-ROM drive (CD-ROM ドライブ)]**を選択し、**[Next (次へ)]**をクリックします。
- 6 **[Add New Hardware Wizard (新しいハードウェアの追加ウィザード)]**のウィンドウで**[The updated driver (Recommended) (更新されたドライバー (推奨))]**を選択し、**[Next (次へ)]**をクリックします。
- 7 **[Add New Hardware Wizard (新しいハードウェアの追加ウィザード)]**のウィンドウで**[Next (次へ)]**をクリックします。**[Copying Files (ファイルのコピー)]**のウィンドウが開きます。10～20 秒後に**[Add New Hardware Wizard (新しいハードウェアの追加ウィザード)]**のウィンドウが再び開きます。
- 8 **[Finish (完了)]**をクリックします。これで USB ドライバーのインストールは完了です。

USBドライバーのインストール方法について

Windows 2000 システムの USB ドライバーインストール

- 1 PC の CD-ROM ドライブに **USB Cable Modem Driver Installation Disk** (USB ケーブルモデム・ドライバー・インストール・ディスク) を挿入します。
- 2 ケーブルモデムの前面パネルにある**[POWER (電源)]**および**[ONLINE (オンライン)]**の LED ステータスインジケーターが緑色で点灯するまで待機します。
- 3 **[Found New Hardware Wizard (新しいハードウェアの検出ウィザード)]**のウィンドウで**[Next (次へ)]**をクリックします。
- 4 **[Found New Hardware Wizard (新しいハードウェアの検出ウィザード)]**のウィンドウで**[Search for a suitable driver for my device (recommended) (デバイスに最適なドライバーを検索する (推奨))]**を選択し、**[Next (次へ)]**をクリックします。
- 5 **[Found New Hardware Wizard (新しいハードウェアの検出ウィザード)]**のウィンドウで**[CD-ROM drives (CD-ROM ドライブ)]**を選択し、**[Next (次へ)]**をクリックします。
- 6 **[Found New Hardware Wizard (新しいハードウェアの検出ウィザード)]**のウィンドウで**[Next (次へ)]**をクリックします。ハードウェア装置のドライバーファイルが検索されます。
- 7 USB ドライバーを見つけると、**[Digital Signature Not Found (デジタル署名が見つかりませんでした)]**のウィンドウが開き、インストールを続行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。
- 8 **[Yes (はい)]**をクリックしてインストールを続行します。**[Found New Hardware Wizard (新しいハードウェアの検出ウィザード)]**のウィンドウが再び開き、インストールの完了メッセージが表示されます。
- 9 **[Finish (完了)]**をクリックし、**[Found New Hardware Wizard (新しいハードウェアの検出ウィザード)]**のウィンドウを閉じます。USB ドライバーが PC にインストールされ、USB 装置を使用できるようになります。
- 10 インターネットにアクセスしてみます。インターネットにアクセスできない場合は、「**困ったときに**」を参照してください (26ページ)。それでもインターネットにアクセスできない場合は、詳細についてサービスプロバイダーにご相談ください。

Windows XP システムの USB ドライバーインストール

- 1 PC の CD-ROM ドライブに **USB Cable Modem Driver Installation Disk** (USB ケーブルモデムドライバーインストールディスク) を挿入します。
- 2 ケーブルモデムの前面パネルにある**[POWER (電源)]**および**[ONLINE (オンライン)]**の LED ステータスインジケーターが緑色で点灯するまで待機します。
- 3 **[Found New Hardware Wizard (新しいハードウェアの検出ウィザード)]**のウィンドウで**[Install from a list or specific location (Advanced) (一覧または特定の指定場所からインストールする (詳細))]**を選択し、**[Next (次へ)]**をクリックします。
- 4 **[Found New Hardware Wizard (新しいハードウェアの検出ウィザード)]**のウィンドウで**[Search removable media (floppy, CD-ROM) (リムーバブルメディアを検索 (フロッピー、CD-ROM など))]**を選択し、**[Next (次へ)]**をクリックします。

- 5 [Hardware Installation (ハードウェアのインストール)]のウィンドウで[Continue Anyway (続行)]をクリックしてインストールを続行します。[Found New Hardware Wizard (新しいハードウェアの検出ウィザード)]のウィンドウが再び開き、インストールの完了メッセージが表示されます。
- 6 [Finish (完了)]をクリックし、[Found New Hardware Wizard (新しいハードウェアの検出ウィザード)]のウィンドウを閉じます。USB ドライバーが PC にインストールされ、USB 装置を使用できるようになります。
- 7 インターネットにアクセスしてみます。インターネットにアクセスできない場合は、「困ったときに」を参照してください (26ページ)。それでもインターネットにアクセスできない場合は、詳細についてサービスプロバイダーにご相談ください。

困ったときに

よくある質問

Q. ケーブルテレビに加入していない場合はどうなりますか？

A. お住まいの地域でケーブルテレビを使用できる場合は、ケーブルテレビサービスへの加入・未加入に関係なく、データサービスが提供される場合があります。高速インターネットアクセスを含むケーブルサービスの詳細については、お近くのケーブル業者にお問い合わせください。

Q. インストールサービスはどのようにして手配できますか？

A. ケーブル事業者に連絡し、専門技術者によるインストールサービスについておたずねください。専門技術者によるインストールサービスを利用すると、モデムと PC へのケーブル接続が適切に行われ、すべてのハードウェアおよびソフトウェアの設定も正しく実施されます。インストールサービスの詳細については、ケーブル・テレフォニーのサービスプロバイダーにお問い合わせください。

Q. どのような方法でケーブルモデルをコンピューターに接続しますか？

A. PC の USB ポートまたは 10/100BaseT Ethernet ポートにケーブルモデムを接続します。Ethernet インターフェースをご使用になる場合、最寄りの PC 小売店またはオフィス用品取扱店、あるいはケーブル事業者から Ethernet カードを購入できます。

Q. ケーブルモデムの接続後、インターネットのアクセスはどのようにして行いますか？

A. お近くのケーブル業者がお客さまのインターネット・サービスプロバイダー (ISP) になります。ISP では電子メール、チャット、ニュース、情報サービスなど、幅広いサービスが用意されています。必要なソフトウェアはサービスプロバイダーから提供されます。

Q. テレビ視聴とインターネット検索を同時にできますか？

A. もちろん可能です。ケーブルテレビジョンサービスに加入している場合、オプションのケーブル信号スプリッターを使用して、ケーブルネットワークにテレビとケーブルモデムを接続することで、テレビ視聴と同時にケーブルモデムを使用できます。

Q. モデムで複数の機器を稼働できますか？

A. 可能です。最寄りの PC 小売店またはオフィス用品取扱店で Ethernet ハブやルーターを購入して使用すれば、1 台のケーブルモデムで理論的に 253 台までの Ethernet 機器に対応します。同一場所にいる別ユーザーがケーブルモデムの USB ポートに同時接続できます。さらにサポートが必要な場合は、サービスプロバイダーにご相談ください。

一般的な問題の修復方法

前面パネルのステータスインジケータの意味がわかりません

前面パネルLEDステータスインジケータの動作と機能の詳細については、「**前面パネルLEDステータスインジケータの機能**」(30ページ)を参照してください。

Ethernet 接続がケーブルモデルに登録されません

- コンピューターにEthernetカードが装着されているかどうか、Ethernetドライバソフトウェアが正しくインストールされているかどうかを確認してください。Ethernetカードを購入してインストールする場合は、インストール手順どおりに作業してください。
- 前面パネルのステータスインジケータランプのステータスを確認してください。

ハブに接続した後、Ethernet 接続がケーブルモデルに登録されません

複数の PC をケーブルモデムに接続する場合、最初に適切なクロスオーバーケーブルを使用してハブのアップリンクポートにモデムを接続してください。ハブのリンクLEDが連続的に点灯します。

ケーブル接続がケーブルモデルに登録されません

- モデムは標準の75オームRF同軸ケーブルで動作します。異なるケーブルを使用している場合は、ケーブルモデムが正しく機能しません。適切なケーブルを使用しているかどうかを判定するには、ケーブル業者にお問い合わせください。
- ご使用のNICカードまたはUSBインターフェースが正しく機能していない場合があります。NICまたはUSBの資料に記載されているトラブルシューティング情報を参照してください。

パフォーマンス改善のヒント

確認と調整

ケーブルモデムが期待どおりに動作しない場合、以下のヒントが役立ちます。さらにサポートが必要な場合は、サービスプロバイダーにご相談ください。

- ケーブルモデムの**AC電源プラグ**が電源コンセントに正しく差し込まれていることを確認してください。
- 壁面のスイッチで切り替えられるコンセントにケーブルモデムの**AC電源コード**が差し込まれていないことを確認してください。壁面のスイッチでコンセントを制御している場合、スイッチが**オン**の位置にあることを確認してください。
- ケーブルモデムの前面パネルにある**[POWER (電源)]**および**[ONLINE (オンライン)]**のLEDステータスインジケータが点灯していることを確認してください。
- すべてのケーブルが正しく接続され、適切なケーブルを使用していることを確認してください。
- ケーブルサービスが有効であり、双方向サービスに対応していることを確認してください。
- Ethernet接続を使用している場合は、TCP/IPの適切なインストールと設定が行われていることを確認してください。
- USB接続を使用している場合は、「**USBドライバのインストール方法について**」（23ページ）に記載されている手順に従っていることを確認してください。
- サービスプロバイダーにケーブルモデムのシリアル番号と**MAC**アドレスを通知済みであることを確認してください。
- 他の機器にケーブルモデムを接続できるようにケーブル信号スプリッターを使用している場合は、スプリッターを取り外してケーブルを再接続し、ケーブルモデムをケーブル入力に直接接続するようにしてください。この場合にケーブルモデムが正しく機能するときは、ケーブル信号スプリッターに不具合があり、取り替えが必要な可能性があります。
- Ethernet接続で最高のパフォーマンスを得るには、**10/100BaseT**ネットワーク・インターフェース・カードを**PC**に装備してください。

PCのIPアドレスを書き換える方法について

ケーブルモデムをオンライン接続にした後に、PCからインターネットにアクセスできない場合は、PCのIPアドレスが書き換えられていない可能性があります。ご使用のオペレーティングシステムに該当する項の説明に従って、PCのIPアドレスを書き換えてください。

Windows 95、98、98SE、ME システムの IP アドレスの書き換え

- 1 [Start (スタート)]、[Run (ファイル名を指定して実行)]の順にクリックし、[Run (ファイル名を指定して実行)]のウィンドウを開きます。
- 2 [Open (名前)]フィールドに **winipcfg** を入力して[OK (OK)]をクリックし、**winipcfg** のコマンドを実行します。[IP Configuration (IP 設定)]のウィンドウが開きます。
- 3 上部フィールドの右側にある下向き矢印をクリックし、PCにインストールした Ethernet アダプターを選択します。[IP Configuration (IP 設定)]のウィンドウに Ethernet アダプターの情報が表示されます。
- 4 [Release (解放)]、[Renew (書き換え)]の順にクリックします。[IP Configuration (IP 設定)]のウィンドウに新しい IP アドレスが表示されます。
- 5 [OK (OK)]をクリックして[IP Configuration (IP 設定)]のウィンドウを閉じます。これで書き換え手順は完了です。

注記：インターネットにアクセスできない場合は、詳細についてサービスプロバイダーにご相談ください。

Windows NT、2000、XP システムの IP アドレスの書き換え

- 1 [Start (スタート)]、[Run (ファイル名を指定して実行)]の順にクリックします。[Run (ファイル名を指定して実行)]のウィンドウが開きます。
- 2 [Open (名前)]フィールドに **cmd** を入力して[OK (OK)]をクリックします。コマンドプロンプトが表示された状態でウィンドウが開きます。
- 3 C:/プロンプトに **ipconfig/release** と入力し、**Enter** キーを押します。IP アドレスがクリアされます。
- 4 C:/プロンプトに **ipconfig/renew** と入力し、**Enter** キーを押します。新しい IP アドレスが表示されます。
- 5 ウィンドウ右上隅の[X]をクリックし、コマンドプロンプトのウィンドウを閉じます。これで手順は完了です。

注記：インターネットにアクセスできない場合は、サポートについてサービスプロバイダーにご相談ください。

前面パネル LED ステータスインジケータの機能

初期電源投入、校正、および登録

電源投入時、校正時、ネットワーク登録時のステップ順序とケーブルモデム前面パネル LED ステータスインジケータの対応する表示を以下の表に示します。電源投入、校正、登録に関するケーブルモデムの各プロセスを修復する場合にこの表を使用します。

注記：ケーブルモデムがステップ 7 を完了すると（登録完了）、直ちにステップ 8 に進みます。「**通常動作**」（30ページ）の表を参照してください。

初期電源投入時、校正時、登録時の前面パネルLEDステータスインジケータ								
ステップ		1	2	3	4	5	6	7
前面パネルインジケータ		セルフテスト	ダウンストリームスキャン	ダウンストリーム信号ロック	レンジング	IPアドレス要求	登録	登録完了
1	POWER (電源)	オン	オン	オン	オン	オン	オン	オン
2	RECEIVE (受信)	オン	オフ	時々点滅	時々点滅	時々点滅	時々点滅	オン
3	SEND (送信)	オン	オフ	オフ	時々点滅	時々点滅	時々点滅	オン
4	CABLE (ケーブル)	オン	ゆっくりと点滅 1回点滅	一時的にオン	オフ	点滅 2回点滅	点滅 4回点滅	オン
5	PC (PC)	オン	オン または 点滅	オン または 点滅	オン または 点滅	オン または 点滅	オン または 点滅	オン

通常動作

次の表は、通常動作時のケーブルモデム前面パネル LED ステータスインジケータの表示を示しています。

通常動作時の前面パネルLEDステータスインジケータ	
ステップ	8
前面パネルインジケータ	通常動作
1	POWER (電源) オン
2	RECEIVE (受信) 点滅 - モデムとネットワーク間でデータ転送中を示します。
3	SEND (送信) 点滅 - モデムとネットワーク間でデータ転送中を示します。
4	CABLE (ケーブル) オン
5	PC (PC) オン - 1台の機器がEthernetポートまたはUSBポートに接続され、モデムでデータが送受信されていないことを示します。 点滅 - Ethernet機器またはUSB装置のいずれかが接続され、顧客端末 (CPE) とケーブルモデム間でデータ転送中の場合にLEDが点滅します。 オフ - EthernetポートまたはUSBポートにいずれの機器も接続されていない場合。 注記：Ethernet機器とUSB装置を同時にモデムに接続した状態でいずれか一方の機器 (EthernetまたはUSB) からデータを転送中の場合、インジケータは連続的に点灯します。両ポート (EthernetおよびUSB) から同時にデータが送信される場合は、前述と同様に常にインジケータが点滅します。

特殊条件

次の表は、特殊条件時のケーブルモデム前面パネル LED ステータスインジケータの表示について説明しています。これらの表示は、ケーブルモデムのアクセス保護が有効であるか、またはネットワークのアクセスが拒否されたかのいずれかを示します。

特殊条件時の前面パネルLEDステータスインジケータ			
前面パネルインジケータ		ケーブルモデムのアクセス保護が有効	ネットワークアクセスを拒否
1	POWER (電源)	オフ	ゆっくりと点滅 1秒に1回
2	RECEIVE (受信)	オフ	ゆっくりと点滅 1秒に1回
3	SEND (送信)	オフ	ゆっくりと点滅 1秒に1回
4	CABLE (ケーブル)	オフ	ゆっくりと点滅 1秒に1回
5	PC (PC)	ゆっくりと点滅 1秒に1回	ゆっくりと点滅 1秒に1回

ご注意

ご注意

商標

Scientific Atlanta は Scientific-Atlanta, Inc. の登録商標です。
DPC2100 および EPC2100 は Scientific-Atlanta, Inc. の商標です。
Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems のロゴは Cisco Systems, Inc. または
米国およびその他の特定国における提携企業の登録商標です。
DOCSIS は Cable Television Laboratories, Inc. の登録商標です。

ここに記載されるその他の商標はそれぞれの所有者に所有権があります。

免責事項

Scientific-Atlanta, Inc. は本書に記載される誤りまたは脱落について一切の責任を負いません。Scientific-Atlanta, Inc. は本書の内容を予告なくいつでも変更できる権利を保持しています。

著作権情報

© 2006 Scientific-Atlanta, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
米国印刷

本書の内容は予告なしに変更されることがあります。本書のいかなる部分も、Scientific-Atlanta, Inc. の文書による明示的な許可なく、いずれの形式でも複製することは許されません。

ソフトウェア使用に関するご注意

本書に記載されるソフトウェアは著作権で保護されており、ソフトウェア使用許諾書の下で提供されます。ソフトウェア使用許諾書の条項に準拠している場合に限り、ソフトウェアの使用またはコピーが許可されます。

ファームウェア使用に関するご注意

本機器のファームウェアは著作権で保護されています。提供する機器のファームウェアに限り使用が許可されます。文書による明示的な同意なく、本ファームウェアまたはその一部の複製または配布は禁止されています。



Scientific Atlanta, A Cisco Company
5030 Sugarloaf Parkway, Box 465447
Lawrenceville, GA 30042

770.236.5000
www.scientificatlanta.com

Scientific-Atlanta, Inc.の各種商標が本書に記載されています。本書で使用されているScientific-Atlanta, Inc.の商標の一覧については、本書の「ご注意」をご参照ください。

ここに記載されるその他の商標はそれぞれの所有者の商標です。
製品およびサービスの提供は予告なしに変更されることがあります。

©2006 Scientific-Atlanta, Inc. 無断複写・転載
を禁じます。

米国印刷

2006年8月

製品番号 4017509